



新鮮な草を我先にと食べるブタ。豚舎飼いと異なり、放牧だとけんかの強いブタから攻撃されても逃げることができ、肌の傷が少ない=9月25日、八ヶ岳中央農業実践大学校



泥浴び場から出てきた直後のブタ。眼だけが泥に汚れておらず、輝いている=9月21日、八ヶ岳中央農業実践大学校

ブタは1回の出産で、子豚を10〜12頭も産む。ミルクを飲んだ後、暖かい日には子豚も一緒にワラ床で寝てしまう。1999年6月25日、スイス・アクロスコープ研究所

## 八ヶ岳山麓 ブタ編 動物ふれあい日記

### 2 子豚の兄弟げんかは半端ない



母豚が寝るときに子豚をつぶしてしまうので、柵でもって子豚を保護している。それぞれの子豚は母豚の乳首をめぐる争い、生後2〜3日たつと、喧嘩の強い子豚はミルクのたくさん出る乳首を独占するようになる=撮影日・場所不明



ブタもウシも仲間同士と一緒に活動したり、休息したり、行動が同期化する。一緒に行動することで、餌を探しやすくなったり、捕食者を見つけやすくなる=9月11日、八ヶ岳中央農業実践大学校

# 生きるか死ぬかは子豚の努力次第

母豚は一回の分娩で、子豚を10〜20分間隔で2〜3時間かけて12頭くらい生みます。陸上で生活する動物には珍しく、子沢山です。その代わり、あまり子豚の面倒を見ません。子を大事に育てるのは1〜2頭を産む動物だけです。ですから、生きるか死ぬかは子豚の努力次第です。子豚は生まれるとすぐに母豚の温かく軟らかい所に沿ってはい回り、乳首に吸い付き、前方の乳首のほうに乳がたくさん出るの、先に生まれた子豚は有利で、前方の2〜3頭の乳首をそれぞれ独占します。子豚は兄弟を追い落とすのに有利な鋭い牙を持って生まれてきます。後から生まれた子豚は最初から不利です。それでも母豚からすれば、どの子も同じように育てようとはしません。1時間ごとに哺乳しますが、ミルクが出る時間は20秒間しか続かないので、ミルクが出る瞬間を子豚全員に知らせようとはしません。毎秒1回の間隔でフウを繰り返して、全頭を呼び寄せ、毎秒5回以上の間隔の声と同時に乳を出します。

佐藤衆介(さとう・しゅうすけ)

1978年に東北大学大学院農学研究科博士課程修了。80年から宮崎大学助手、88年から同大助教授を務める。94年に東北大学助教授に着任。2002年からは農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所放牧管理部長。05年から東北大学大学院教授を務める。同大名譽教授。15年からは帝京科学大学教授。19年に八ヶ岳中央農業実践大学校(原村)の畜産部長となり、現在に至る。主な著書は「アニマルウェルフェア」(東京大学出版会、2005)など。



(八ヶ岳中央農業実践大学校畜産部長、佐藤衆介) 〓 随時掲載